

変額個人年金保険GF（Ⅶ型）
ファイブグロース
特別勘定の現況 兼 特別勘定レポート
(2011年度) (2012年5月発行)

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



お客さまへのご案内

- 当資料はお客さまに特別勘定の運用状況や運用概況などをお知らせするための資料です。
- 当資料はお客さまの運用状況などをご案内する「ご契約状況のお知らせ」とは異なります。お客さまの個別の運用状況は掲載されておりませんのでご了承ください。
- 今回の月次運用レポートは発行月前月末時点の最新データによるものです。
- 各種変更手続き、積立金額のご照会など、ご契約に関するお問い合わせは下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

テレホンサービス **0120-237-770**

受付時間：月～金／9:00～17:30

(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)

※お問い合わせの際は、証券番号がわかるもの(保険証券など)をお手元にご準備ください。

- ホームページによる情報提供とサービス

東京海上日動フィナンシャル生命 ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約者さま専用ページでは、ログインIDとパスワードを使って、インターネットから住所変更などのお手続きや運用状況の確認を行うことができます。

データは毎営業日に更新されますので、いつでも最新の情報を得ることができます。

ログインIDとパスワードはご契約者さまご本人において厳重に管理していただき、第三者に開示されることのないようお願い申し上げます。

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用(年率)*1
FG新興国重視型20	SMAM・FG新興国重視型バランス20VA 〈適格機関投資家限定〉	三井住友アセットマネジメント	0.4957%(税込)程度*2
FGグローバル型25	SMAM・FGグローバルバランス25VA 〈適格機関投資家限定〉		0.3589%(税込)程度*2
FG新興国債券	SMAM・FG新興国債券インデックスVA 〈適格機関投資家限定〉		0.8415%(税込)程度*2
FG新興国株式	SMAM・FG新興国株式インデックスVA 〈適格機関投資家限定〉		0.4615%(税込)程度*2
FG日本株式	日経225VA(適格機関投資家専用)		0.21%(税込)程度*3
FG外国債券円H	ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンド／ 為替ヘッジ付きVA4〈適格機関投資家限定〉	ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズ	0.2415%(税込)程度*3
アジア債券円H	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド (円ヘッジコース)VA〈適格機関投資家限定〉	ゴールドマン・サックス・アセット・ マネジメント	0.9345%(税込)程度*3
FGマネー	SMAM・FGマネーファンドVA〈適格機関投資家限定〉	三井住友アセットマネジメント	各月ごとに決定*4

【参考指数】

国内株式：TOPIX(東証株価指数、配当込み)

外国株式：MSCI-KOKUSAIインデックス(税引前配当込み、円ベース)

新興国株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)

国内債券：NOMURA-BPI(総合)

外国債券：シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債券：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)

*1 資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更する可能性があります。

*2 主な投資対象となる投資信託の信託報酬率に主な投資対象となる投資信託の各マザーファンドが投資対象とする上場投資信託証券(ETF)の信託報酬率等を基本資産配分比率で按分して算出した値を加えた実質的な信託報酬率等で記載しています。なお、「FG新興国重視型20」「FGグローバル型25」「FG新興国株式」の主な投資対象となる投資信託が投資する新興国株式ETF・マザーファンドの主要投資対象であるバンガード・MSCI・エマージング・マーケットETFの信託報酬率等は年1回見直され変動するため、実質的な信託報酬率は2011年2月25日の値(年0.22%)をもとに算出しています。投資信託の運用には信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかることがあります。これらの費用は発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*3 主な投資対象となる投資信託の信託報酬率を記載しています。投資信託の運用には信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかることがあります。これらの費用は一部(「アジア債券円H」の主な投資対象となる投資信託の信託事務の諸費用【監査報酬を含む、投資信託の純資産総額の年率0.05%相当額が上限】)を除き、発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*4 前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの信託報酬率は、原則として、当該各月の前月最終5営業日における無担保コール翌日物レート(年率)の平均値(以下「コールレート」といいます)に応じ、次に掲げる率(税込)とします。コールレートが0.25%未満の場合はコールレート×0.42、0.25%以上0.50%未満の場合は0.105%、0.50%以上1.00%未満の場合は0.147%、1.00%以上の場合は0.189%とします。

特別勘定の内容

特別勘定の名称	運用方針
FG新興国重視型20	主な投資対象となる投資信託を通じて、国内外の株式および債券に分散投資することにより、資産の着実な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式5%、外国株式5%、新興国株式10%、国内債券5%、外国債券30%、新興国債券45%です。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FGグローバル型25	主な投資対象となる投資信託を通じて、国内外の株式および債券に分散投資することにより、資産の着実な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式5%、外国株式10%、新興国株式10%、国内債券10%、外国債券40%、新興国債券25%です。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FG新興国債券	主な投資対象となる投資信託を通じて、新興国の債券等に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)に概ね連動する投資成果を目指します。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FG新興国株式	主な投資対象となる投資信託を通じて、新興国の株式等に投資することにより、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)に概ね連動する投資成果を目指します。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FG日本株式	主な投資対象となる投資信託を通じて、わが国の株式に投資することにより、日経平均株価と連動する投資成果を目標として運用を行います。
FG外国債券円H	主な投資対象となる投資信託を通じて、日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債等に投資することにより、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行います。
アジア債券円H	主な投資対象となる投資信託を通じて、主として、日本を除くアジアの企業が発行する米ドル建ハイ・イールド債券に投資することにより、資産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。
FGマネー	主な投資対象となる投資信託を通じ、主として円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保を目指します。

●特別勘定の主な投資リスク

価格変動リスク	有価証券等の市場価格の変動により、資産価値が減少することがあります。
金利変動リスク	金利水準の変動により、資産価値が減少することがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動により、資産価値が減少することがあります。
信用リスク	有価証券の発行母体の経営・財務状況の悪化等により、資産価値が減少することがあります。
カントリーリスク	有価証券の発行国の政治・経済・社会情勢の変化により、資産価値が減少することがあります。

※投資リスクについては「特別勘定のしおり」にくわしく記載しておりますのでご確認ください。

特別勘定 純資産総額の内訳

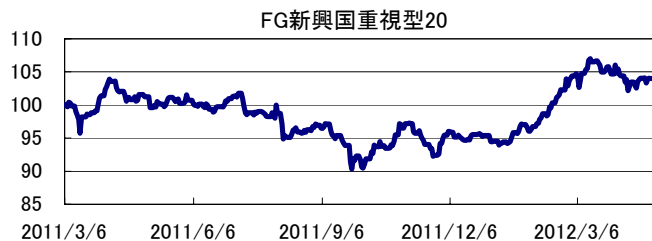
2012年4月末現在

特別勘定の名称	資産配分(%)		純資産 総額 (百万円)	特別勘定の名称	資産配分(%)		純資産 総額 (百万円)
	有価 証券等	現預金 その他			有価 証券等	現預金 その他	
FG新興国重視型20	95.0%	5.0%	514	FG日本株式	110.8%	-10.8%	170
FGグローバル型25	95.0%	5.0%	193	FG外国債券円H	95.1%	4.9%	135
FG新興国債券	95.0%	5.0%	987	アジア債券円H	95.5%	4.5%	2,101
FG新興国株式	94.7%	5.3%	261	FGマネー	81.1%	18.9%	579

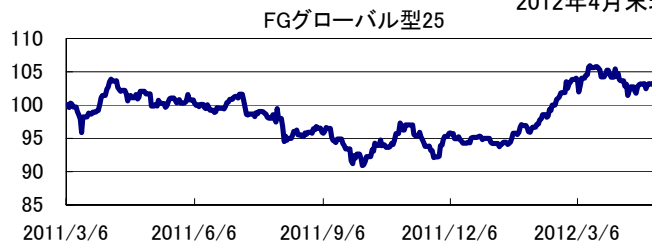
※純資産総額は単位未満を切り捨てて、資産配分は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

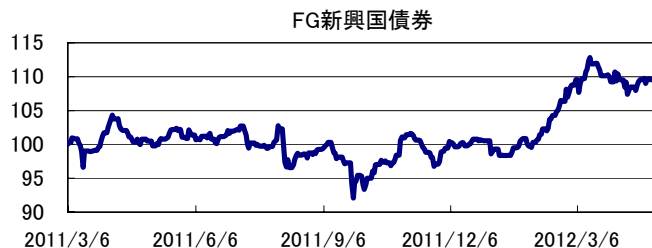
2012年4月末現在



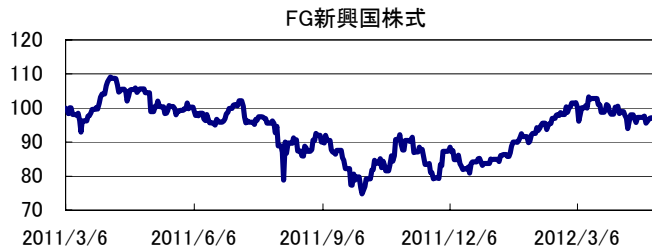
FG新興国重視型20		SMAM・FG新興国重視型 バランス20VA* ¹		ユニット プライス	103.98
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-0.68%	8.24%	6.96%	2.35%	3.98%



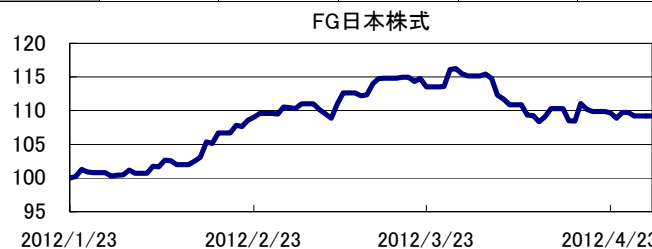
FGグローバル型25		SMAM・FGグローバル バランス25VA *1		ユニット プライス	103.18
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	−0.94%	7.47%	6.03%	1.08%	3.18%



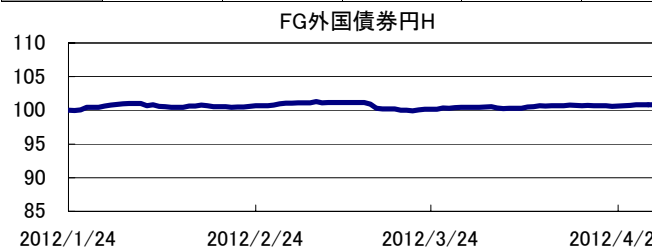
FG新興国債券		SMAM・FG新興国債券 インデックスVA ^{*1}		ユニット プライス	109.55
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	0.31%	9.84%	8.90%	8.72%	9.55%



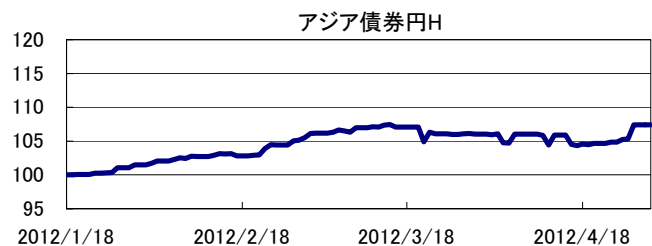
FG新興国株式		SMAM・FG新興国株式 インデックスVA ^{*1}		ユニット プライス	97.06
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	−1.15%	8.06%	5.30%	−8.09%	−2.93%



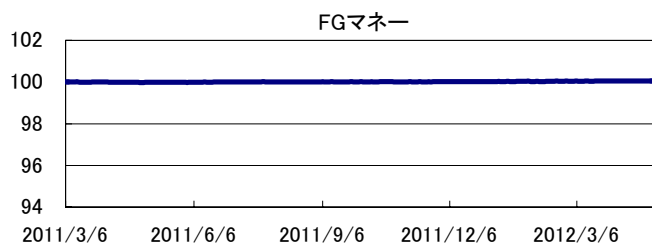
FG日本株式		日経225VA*2		ユニット プライス	109.23
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	−5.15%	8.79%	−	−	9.23%



FG外国債券円H		ステート・ストリート外国債券 インデックス・ファンド／ 為替ヘッジ付きVA4* ¹		ユニット プライス	100.84
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	0.39%	0.08%	－	－	0.84%



アジア債券円H		GSアジア・ハイ・イールド [※] 債券ファンド (円ヘッジコース)VA ^{※1}		ユニット プライス	107.38
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	1.27%	5.80%	－	－	7.38%



FGマネー		SMAM・FGマネー ファンドVA ^{*1}		ユニット プライス	100.04
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	0.00%	0.00%	0.04%	0.06%	0.04%

*1 適格機関投資家限定
*2 適格機関投資家専用

※ ユニットプライスと期間収益率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・変額個人年金保険GF(VII型)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

SMAM・FG新興国重視型バランス20VA＜適格機関投資家限定＞

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	10,487	-77
純資産総額(百万円)	488	3

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	参考指数
1ヵ月	H24.3.30	-0.73%	-0.84%
3ヵ月	H24.1.31	8.66%	8.94%
6ヵ月	H23.10.31	7.32%	7.98%
1年	H23.4.28	3.16%	3.99%
3年			

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

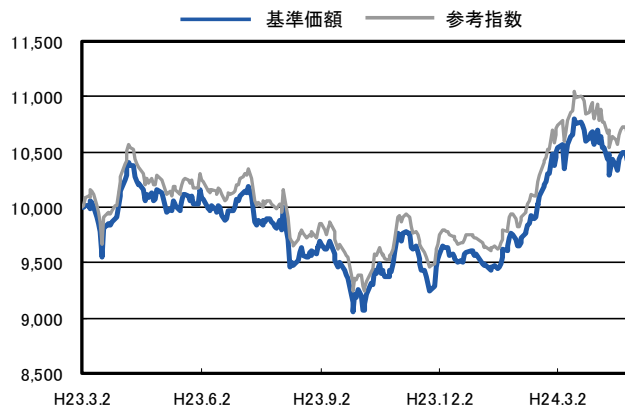
※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド組入比率

	基本資産配分	ファンド
国内株式	5.00%	4.97%
国内債券	5.00%	4.98%
外国株式	5.00%	5.09%
外国債券	30.00%	29.95%
新興国株式	10.00%	10.09%
新興国債券	45.00%	44.93%

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。■ 上記グラフにおいては、基準価額及び参考指数を、ファンド設定日前日を10,000として表示しております。■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■ 参考指数は、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIロクサイインデックス(税引前配当込み、円ベース)、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分を元に加重平均し、当社が独自に指数化しております。

SMAM・FGグローバルバランス25VA＜適格機関投資家限定＞

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	10,359	-104
純資産総額(百万円)	184	29

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	参考指数
1ヵ月	H24.3.30	-0.99%	-1.05%
3ヵ月	H24.1.31	7.88%	8.11%
6ヵ月	H23.10.31	6.38%	6.92%
1年	H23.4.28	1.18%	1.94%
3年			

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド組入比率

	基本資産配分	ファンド
国内株式	5.00%	4.96%
国内債券	10.00%	9.94%
外国株式	10.00%	10.16%
外国債券	40.00%	39.90%
新興国株式	10.00%	10.09%
新興国債券	25.00%	24.95%

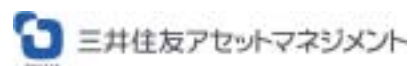
● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。■ 上記グラフにおいては、基準価額及び参考指数を、ファンド設定日前日を10,000として表示しております。■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■ 参考指数は、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIロクサイインデックス(税引前配当込み、円ベース)、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分を元に加重平均し、当社が独自に指数化しております。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

SMAM・FG新興国債券インデックスVA＜適格機関投資家限定＞

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券／インデックス型

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	11,003	36
純資産総額(百万円)	939	-2

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	0.33%	0.23%
3ヵ月	H24.1.31	10.37%	10.99%
6ヵ月	H23.10.31	9.46%	10.82%
1年	H23.4.28	9.56%	11.34%
3年			

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

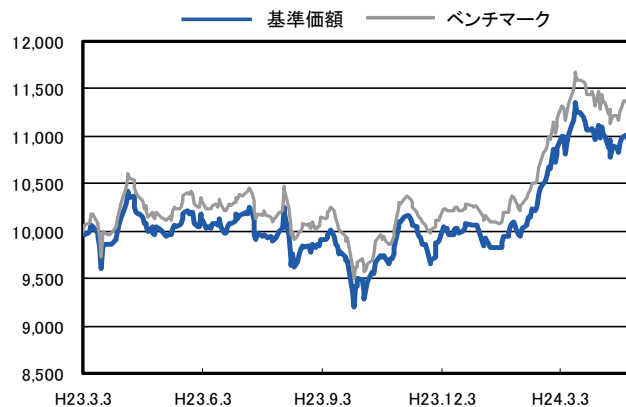
※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド組入比率

	ファンド
新興国債券ETF・マザーファンド	100.03%
現金等	-0.03%

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■ベンチマークは、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)は、J.P.モルガン社が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

SMAM・FG新興国株式インデックスVA＜適格機関投資家限定＞

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	9,035	-163
純資産総額(百万円)	248	-59

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	-1.77%	-2.55%
3ヵ月	H24.1.31	8.06%	7.97%
6ヵ月	H23.10.31	5.76%	5.95%
1年	H23.4.28	-14.81%	-14.04%
3年			

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド組入比率

	ファンド
新興国株式ETF・マザーファンド	99.89%
現金等	0.11%

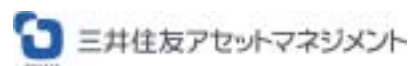
● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

国内株式：国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	10,930	-680
純資産総額(百万円)	288,506	-15,781

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	-5.86%	-5.86%
3ヵ月	H24.1.31	7.64%	7.66%
6ヵ月	H23.10.31	6.58%	6.54%
1年	H23.4.28	-3.34%	-3.36%
3年			

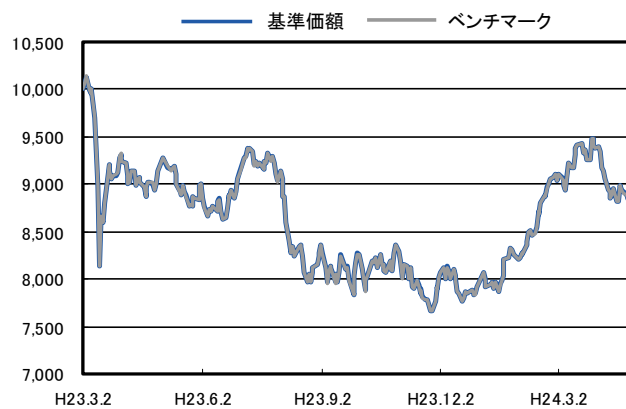
設定来 H23.3.2 -11.70% -11.73%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ペーパーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H15.2.17)



■ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■TOPIX(東証株価指数、配当込み)に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。また、本件商品を東京証券取引所が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	4月27日	前月比
株式	98.2 %	- 0.0 %
先物等	1.8 %	0.1 %
合 計	100.0 %	0.1 %

● 組入上位業種 ※2

業種名	比率
1 電気機器	13.6%
2 輸送用機器	10.7%
3 銀行業	9.5%
4 情報・通信業	6.3%
5 化学	6.0%
6 卸売業	5.6%
7 機械	5.2%
8 医薬品	4.8%
9 小売業	4.3%
10 陸運業	3.9%
その他	30.2%

● 組入上位10銘柄 ※1 (組入全銘柄数 1,558)

銘柄名	比率
1 トヨタ自動車	3.8%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.6%
3 本田技研工業	2.2%
4 キヤノン	2.0%
5 三井住友フィナンシャルグループ	1.7%
6 日本電信電話	1.5%
7 みずほフィナンシャルグループ	1.4%
8 ファナック	1.3%
9 武田薬品工業	1.2%
10 三菱商事	1.1%

※1 純資産総額対比

※2 現物株式評価額対比

● 市場動向

TOPIX(東証株価指数、配当込み)は月間で5.86%の下落となりました。月初から、高値警戒感が強まる中、円高傾向への反転や、スペイン国債の入札不調を受け欧州債務問題再燃への警戒感が生じたことなどから下落基調となりました。その後も、米雇用統計が市場予想を大幅に下回ったことや、スペイン、イタリアなどの一部欧州諸国の長期金利が急騰したことなどが嫌気され、軟調な展開が続き安値圏のまま取引を終えました。

業種別では、全ての業種が下落しました。カード取扱高の堅調推移が好感されたクレジットカード会社を中心にその他金融業、大型自社タイトルゲームの好調から業績回復期待が高まったDeNAの上昇の影響からサービス業、堅調な売上推移により好業績が続いている小売業などが市場平均を上回りました。一方、先行きに対する鋼材需要への不透明感から鉄鋼、欧州債務問題再燃への警戒感を背景に保険業、携帯ゲーム機の販売不振や円高による業績悪化が嫌気された任天堂の影響からその他製品などが市場平均を下回りました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

国内債券：国内債券パッシブ・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	11,218	58
純資産総額(百万円)	495,668	-3,643

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	0.52%	0.52%
3ヵ月	H24.1.31	0.69%	0.69%
6ヵ月	H23.10.31	1.52%	1.49%
1年	H23.4.28	3.07%	3.07%
3年			
設定来	H23.3.2	3.42%	3.43%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ベビーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H17.6.10)



■ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■NOMURA-BPI(総合)は、野村證券が公表している指数で、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

● 資産構成 ※1

	4月27日	前月比
債券	99.5%	- 0.1 %
先物等	0.0%	0.0 %
合 計	99.5%	- 0.1 %

● ポートフォリオの状況

平均クーポン	1.67 %
平均修正デュレーション	7.15 年
平均利回り	0.69 %

● 債券種別構成 ※2

国債	77.0%
政府保証債	4.4%
地方債	6.9%
金融債	1.5%
事業債	7.8%
円建外債	0.8%
その他	1.5%

● 残存年限別構成 ※2

1年未満	2.1 %
1-3年	21.6 %
3-5年	21.4 %
5-7年	11.7 %
7-10年	17.2 %
10年以上	25.9 %

※1 純資産総額対比

※2 現物債券評価額対比

● 市場動向

長期金利(10年国債利回り)は月初に利益確定売りなどにより1.05%まで上昇したものの、その後は欧州債務問題の再燃や日銀の金融政策への緩和期待を背景に低下しました。月末には、日銀の追加緩和を受けて債券が買われ、前月末より低い0.885%で終了しました。

月初は、国内投資家を中心とした利益確定の債券売りに押され、また米国で追加緩和期待が後退したことから、長期金利は1.05%へ上昇しました。しかしその後は、スペイン国債の入札が不調だったことで欧州債務問題に再び焦点が当たったことや、円が1ドル=80円台に向けて買われたことから、債券は買い戻され長期金利は0.9%台前半へ低下しました。

下旬になると、中国の成長率が弱含みとなったことや、欧州への債務不安が継続したことで、長期金利は0.9%台で安定して推移しましたが、月末の金融政策決定会合で日銀は資産買入れ等基金の増額や買入れ対象年限の長期化などを決定したため債券が買い進まれ、長期金利は0.9%を割り込みました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

外国株式：外国株式インデックス・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	13,363	-245
純資産総額(百万円)	221,766	-3,798

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	-1.80%	-1.75%
3ヵ月	H24.1.31	11.92%	12.02%
6ヵ月	H23.10.31	9.75%	9.91%
1年	H23.4.28	-5.02%	-4.75%
3年			
設定来	H23.3.2	0.16%	0.48%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ベビーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 資産構成 ※1

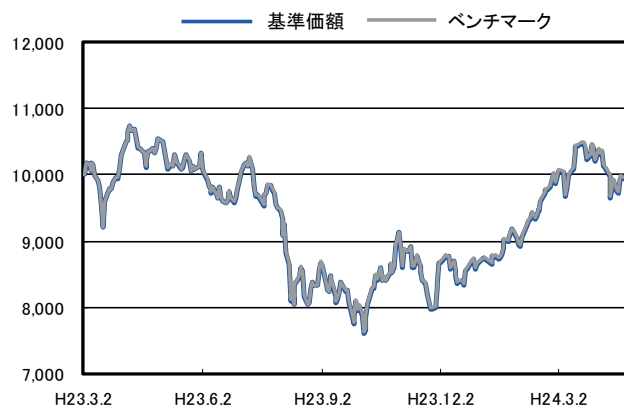
	4月27日	前月比
株式	98.5 %	-0.4 %
先物等	1.4 %	0.4 %
合 計	99.9 %	0.0 %

● 国別投資比率 ※2

アメリカ	56.9 %
イギリス	10.2 %
カナダ	5.5 %
スイス	4.3 %
オーストラリア	4.0 %
その他	19.1 %

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H15.5.19)



■ベンチマークは、MSCIコクサイインデックス(税引前配当込み、円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■MSCIコクサイインデックス(税引前配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 組入上位10銘柄 ※1

(組入全銘柄数 1,297)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	2.5 %
2	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.8 %
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.1 %
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.1 %
5	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.9 %
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.9 %
7	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	0.9 %
8	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.8 %
9	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.8 %
10	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	0.8 %

※1 純資産総額対比

※2 現物株式評価額対比(外貨建リートを含む)

● 市場動向

4月の米国市場は、S&P500インデックスで見れば前月末と比べて小幅な下落となりました。高値警戒感が煽る中で発表された米雇用統計が市場予想を下回り、景気の先行き不透明感が台頭したことに加え、欧州財政・金融問題の再燃など外部環境の悪化を背景に、上旬の株式市場は下落しました。中旬は1-3月期の決算発表を受け、個別物色の強い一進一退の展開となり、月末にかけては、アップルなど主要企業の市場予想を上回る決算が好感されたことや、根強い追加金融緩和期待から買い戻される展開となりましたが、前月末対比では小幅の下落となりました。

欧州市場は下落しました。スペインの銀行セクターの不良債権問題に加え、オランダでの政局不安など欧州固有の問題が市場の重石となる中、米国以上の下落となりました。

(為替)当月末(4月27日)の米ドル/円は前月末よりやや円高の81円台となり、ユーロ/円は前月末より円高の107円台となりました。主要通貨については、米国の低調な経済指標や欧州の財政不安再燃などを背景として、米ドルやユーロに対して消去法的に円が買われる展開となりました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

外国債券：外国債券パッシブ・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	11,698	-136
純資産総額(百万円)	253,767	-3,734

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	-1.15%	-1.10%
3ヵ月	H24.1.31	7.15%	7.22%
6ヵ月	H23.10.31	4.97%	5.10%
1年	H23.4.28	1.47%	1.57%
3年			

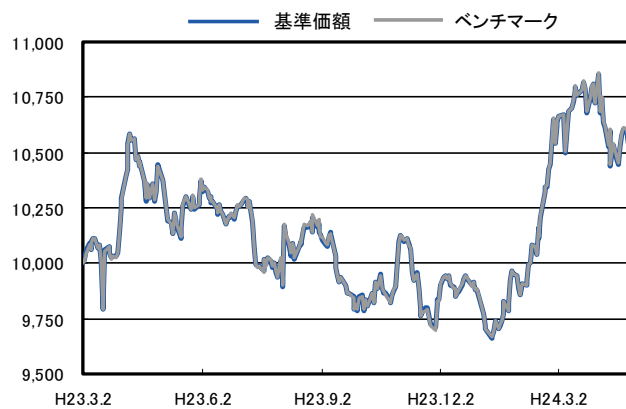
設定来 H23.3.2 5.97% 6.06%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ペーパーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H15.12.18)



■ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を指します。
 ■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクが開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	4月27日	前月比
債券	97.9%	0.8 %
先物等	0.0%	0.0 %
合 計	97.9%	0.8 %

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	8.19 年
平均修正デュレーション	6.05 年
平均利回り	1.94%

● 通貨別構成 ※2

アメリカドル	41.3%
ユーロ	41.2%
イギリス ポンド	8.1%
カナダドル	3.0%
オーストラリアドル	1.5%
その他	4.9%

● 残存年限別構成 ※2

1年未満	3.4 %
1-3年	27.1 %
3-7年	31.3 %
7-10年	16.5 %
10年以上	21.6 %

※1 純資産総額対比

※2 現物債券評価額対比

● 市場動向

(債券) 当月末(現地4月26日)の米国10年国債利回りは前月末より低水準の1.94%となり、ドイツ10年国債利回りも前月末より低水準の1.68%となりました。米国では、雇用統計などの主要経済指標が市場予想を下回ったことを受けて、長期金利は低下基調で推移しました。ユーロ圏では、スペインを中心に財政再建への取り組みが遅れるとの懸念が高まったことで、安全資産としてのドイツ国債の需要が強まり、ドイツの長期金利は低下基調で推移しました。
 (為替) 当月末(4月27日)の米ドル/円は前月末よりやや円高の81円台となり、ユーロ/円は前月末より円高の107円台となりました。主要通貨については、米国の低調な経済指標や欧州の財政不安再燃などを背景として、米ドルやユーロに対して消去法的に円が買われる展開となりました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国株式：新興国株式ETF・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	9,216	-154
純資産総額(百万円)	316	-54

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	-1.64%	-2.55%
3ヵ月	H24.1.31	8.40%	7.97%
6ヵ月	H23.10.31	6.30%	5.95%
1年	H23.4.28	-13.50%	-14.04%
3年			
設定来	H23.3.3	-7.84%	-6.50%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 投資信託証券組入比率

	ファンド
バンガード・MSCI・エマージング・マーケットETF ※	96.85%
現金等	3.15%

● 市場動向

(株式)

当月のグローバル株式市場は、金融緩和期待で中国市場は上昇しましたが、米国の景気減速懸念と欧州債務問題に対する警戒感から、主要な株式指数は総じて下落しました。

アジア市場は、まちまちの動きとなりました。中国では、1-3月期のGDP(国内総生産)統計が景気の減速を示したものの、金融緩和期待が高まり、中国株式市場は上昇しました。またタイ市場も復興需要による景気回復期待から上昇しました。一方、台湾では、株式投資におけるキャピタルゲイン税を導入する方針が固められたことから下落したほか、その他市場も軟調な展開となりました。

中南米市場は、メキシコは小動きだったものの、ブラジルを中心に下落しました。ブラジルは、前月に続いて中央銀行が0.75%の政策金利の引き下げを実施したものの、主要銀行の業績悪化懸念など、景気減速に伴う企業業績に対する警戒感が広がりました。ロシア市場も景気減速への警戒感に加えて、欧州債務問題の余波もあり、下落しました。

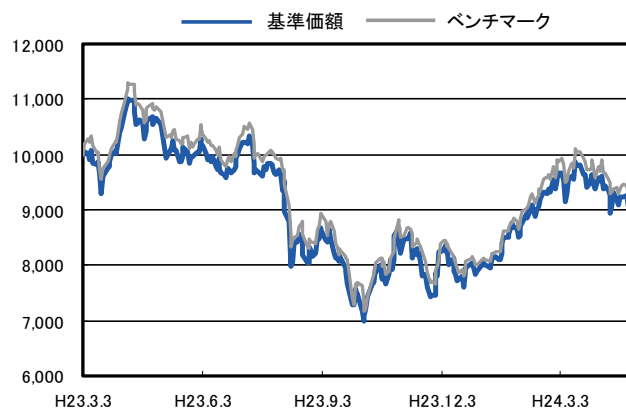
(為替)

当月は米国の景気減速懸念と欧州債務問題への警戒感から、市場参加者のリスク回避姿勢が強まりました。その結果、為替市場では円高・ドル安の展開となり、ドル円相場は、前月末の82円台前半の水準から中旬には一時80円半ばまでドルが下落しました。

その後、日本でも追加金融緩和期待が高まり、実際に一段の緩和政策が打出されたことで円高圧力はやや緩和し、当月末には81円台前半となりました。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

※「バンガード・エマージング・マーケットETF」は、平成23年2月25日より「バンガード・MSCI・エマージング・マーケットETF」に名称変更しました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国株式：新興国株式ETF・マザーファンド

(ご参考) バンガード・MSCI・エマージング・マーケットETFの状況

● 騰落率

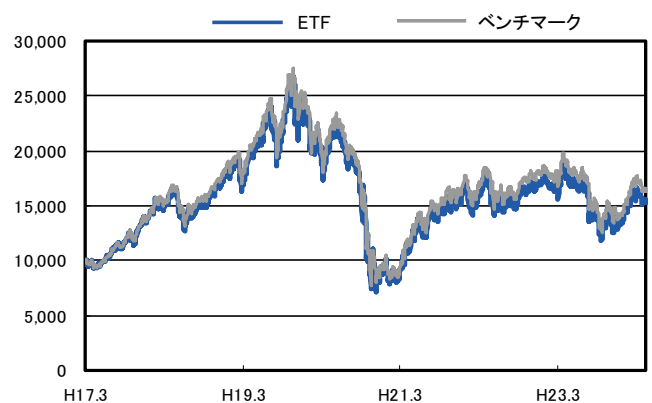
	基準日	ETF	ベンチマーク	円/米ドル
1ヵ月	H24.3.30	-2.04%	-2.55%	-1.22%
3ヵ月	H24.1.31	7.99%	7.97%	6.30%
6ヵ月	H23.10.31	5.49%	5.95%	4.42%
1年	H23.4.28	-14.73%	-14.04%	-1.08%
3年	H21.4.30	35.95%	41.01%	-16.97%
設定来	H17.3.11	55.16%	64.30%	-22.07%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※ 円/米ドルは、社団法人 投資信託協会が発表する仲値(TTM)を用いて計算しています。

● 時価(円ベース)の推移

(ファンド設定日 H17.3.11)



■ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、ETFの時価及びベンチマークを、ETF設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■ETFの時価(円ベース)は、バンガード・MSCI・エマージング・マーケットETF(米ドル建て)の時価を当社が独自に円換算したものです。■MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ETFを同社が保証するものではありません。

● 国別投資比率 (基準日 H24.3.31)

1 中国	17.3 %
2 韓国	15.2 %
3 ブラジル	14.8 %
4 台湾	10.9 %
5 南アフリカ	7.6 %
6 ロシア	6.7 %
7 インド	6.6 %
8 メキシコ	4.8 %
9 マレーシア	3.4 %
10 インドネシア	2.8 %

● 組入上位10銘柄

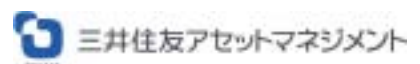
(基準日 H24.3.31)

銘柄名
1 Samsung Electronics Co Ltd
2 Petroleo Brasileiro SA
3 Vale SA
4 Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd
5 China Mobile Ltd
6 Gazprom OAO
7 America Movil SAB de CV
8 China Construction Bank Corp
9 Itau Unibanco Holding SA
10 Industrial & Commercial Bank of China

(組入全銘柄数 903)

※Vanguardおよびデータストリームのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国債券：新興国債券ETF・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	11,136	40
純資産総額(百万円)	1,204	6

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	0.36%	0.23%
3ヵ月	H24.1.31	10.50%	10.99%
6ヵ月	H23.10.31	9.75%	10.82%
1年	H23.4.28	10.28%	11.34%
3年			
設定来	H23.3.3	11.36%	13.51%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 投資信託証券組入比率

	ファンド
シェアーズ J.P.モルガン・ミドル建て エマージング・マーケット債券ファンド	98.57%
現金等	1.43%

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■ベンチマークは、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)は、J.P.モルガン社が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 市場動向

(債券)

4月に入り、前月に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事録で、追加的な量的緩和に向けた姿勢が後退していることが明らかになったほか、雇用統計では、新規雇用者数の増加ペースが3月に減速したことが判明し、米国景気への不透明感が強まりました。

米国10年国債の利回りは前月末の2.21%から当月末は1.91%と2%を下回る水準まで低下し、新興国債券の利回りも、中旬まで低下(価格は上昇)基調となりました。

しかしその後、欧州の債務問題への警戒感が再燃し、市場参加者のリスク回避姿勢が強まり、新興国債券は米国債に対する利回り格差が拡大する展開となりました。新興国債券の利回りは月末にかけて上昇傾向となりましたが、4月を通しては債券市場のリターンは若干のプラスとなりました。

(為替)

4月上旬に米国で景気の先行きを巡る不透明感が強まったほか、中旬には欧州債務問題への警戒感が再燃したこともあり、市場参加者のリスク回避姿勢が強まりました。

その結果、為替市場では円高・ドル安の展開となり、ドル円相場は、前月末の82円台前半の水準から中旬には一時80円半ばまでドルが下落しました。

その後、日本でも追加金融緩和期待が高まり、実際に一段の緩和政策が打出されたことで円高圧力はやや緩和し、当月末には81円台前半となりました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国債券：新興国債券ETF・マザーファンド

(ご参考) iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ファンドの状況

(基準日 H24.4.26)

● 騰落率

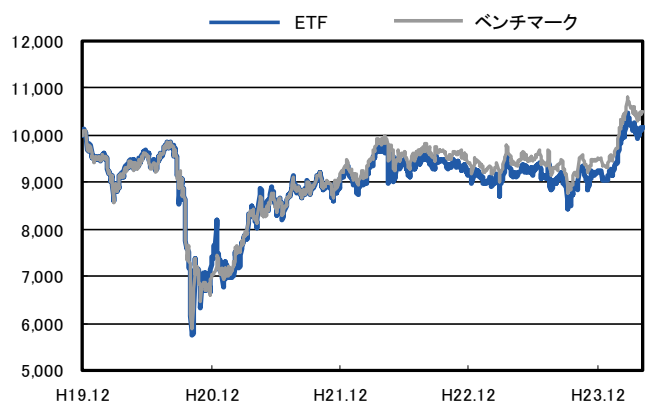
	基準日	ETF	ベンチマーク	円/米ドル
1ヵ月	H24.3.30	0.43%	0.23%	-1.22%
3ヵ月	H24.1.31	10.77%	10.99%	6.30%
6ヵ月	H23.10.31	10.07%	10.82%	4.42%
1年	H23.4.28	10.35%	11.34%	-1.08%
3年	H21.4.30	23.76%	27.10%	-16.97%
設定来	H19.12.20	1.56%	5.01%	-28.38%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※ 円/米ドルは、社団法人 投資信託協会が発表する仲値(TTM)を用いて計算しています。

● 時価(円ベース)の推移

(ファンド設定日 H19.12.20)



■ベンチマークは、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、ETFの時価及びベンチマークを、ETF設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■ETFの時価(円ベース)は、iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ファンドの時価を当社が独自に円換算したものです。■J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)は、J.P.モルガン社が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ETFを同社が保証するものではありません。

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	11.94 年
平均クーポン	6.82%
平均デュレーション	7.38 年
組入全銘柄数	124

● 国別構成

1 ブラジル	7.8%
2 ロシア	7.5%
3 メキシコ	7.3%
4 トルコ	7.0%
5 フィリピン	6.8%
6 インドネシア	6.4%
7 ベネズエラ	5.2%
8 コロンビア	5.1%
9 ペルー	4.3%
10 ポーランド	4.2%

● 残存年限別構成

1年未満	0.0%
1-5年	12.9%
5-10年	43.6%
10-15年	3.8%
15-20年	11.6%
20-25年	19.4%
25年以上	6.7%

● 組入上位10銘柄

銘柄名	格付(S&P/Moody's)	種別	クーポン(%)	償還日	比率
1 フィリピン国債	BB/Baa2	国債	7.75	2031/1/14	4.4%
2 ロシア国債	BBB/Baa1	国債	7.50	2030/3/31	3.2%
3 ペルー国債	BBB/Baa3	国債	6.55	2037/3/14	3.0%
4 ブラジル国債	BBB/Baa2	国債	7.12	2037/1/20	2.9%
5 インドネシア国債	BB+/Baa3	国債	6.88	2018/1/17	2.6%
6 トルコ国債	BB/Baa2	国債	6.88	2036/3/17	2.5%
7 ウルグアイ国債	BBB-/Ba1	国債	7.62	2036/3/21	2.1%
8 トルコ国債	BB/Baa2	国債	7.25	2015/3/15	2.1%
9 インドネシア国債	BB+/Baa3	国債	6.62	2037/2/17	2.0%
10 メキシコ国債	BBB/Baa1	国債	6.75	2034/9/27	2.0%

※iSharesおよびデータストリームのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

日経225VA(適格機関投資家専用)

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式／インデックス型

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	11,119	-660
純資産総額(百万円)	5,676	185

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H24.3.30	-5.60%	-5.58%
3ヵ月	H24.1.31	9.06%	8.16%
6ヵ月	H23.10.31	6.94%	5.92%
1年	H23.4.28	-1.84%	-3.34%
3年	H21.4.30	12.38%	7.85%
設定来	H14.9.20	11.19%	0.42%

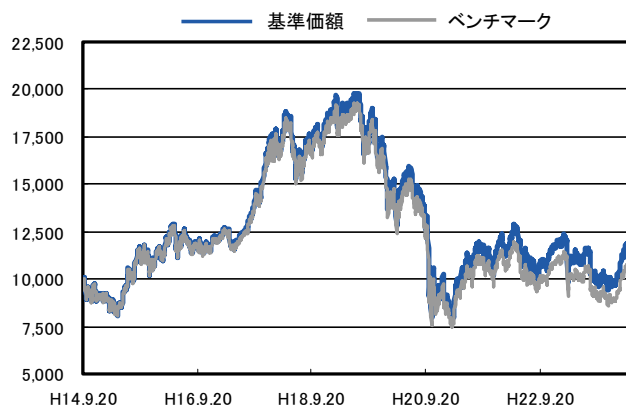
※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ファンドの設定日前日(H14.9.20)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H14.9.24)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■ベンチマークは、日経平均株価を指します。
 ■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成14年9月20日を10000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。また、本件商品を日本経済新聞社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	4月27日	前月比
株式	89.8 %	0.5 %
先物等	10.2 %	-0.5 %
合 計	99.9 %	-0.0 %

● 組入上位業種 ※2

業種名	比率
1 電気機器	21.5%
2 小売業	10.5%
3 情報・通信業	8.7%
4 輸送用機器	7.0%
5 医薬品	6.5%
6 化学	6.4%
7 機械	5.0%
8 食料品	4.4%
9 精密機器	3.3%
10 卸売業	3.0%
その他	23.8%

● 組入上位10銘柄 ※1 (組入全銘柄数 225)

銘柄名	比率
1 ファーストリテイリング	6.8%
2 ファナック	5.1%
3 京セラ	3.0%
4 ソフトバンク	2.7%
5 本田技研工業	2.2%
6 キヤノン	2.1%
7 KDDI	2.0%
8 信越化学工業	1.8%
9 東京エレクトロン	1.7%
10 TDK	1.6%

※1 純資産総額対比

※2 現物株式評価額対比

● 市場動向

日経平均株価は月間で5.58%の下落となりました。月初から、高値警戒感が強まる中、円高傾向への反転や、スペイン国債の入札不調を受け欧州債務問題再燃への警戒感が生じたことなどから下落基調となりました。その後も、米雇用統計が市場予想を大幅に下回ったことや、スペイン、イタリアなどの一部欧州諸国の長期金利が急騰したことなどが嫌気され、軟調な展開が続く安値圏のまま取引を終えました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンド／為替ヘッジ付きVA4＜適格機関投資家限定＞

月次運用報告書

追加型投信／海外／債券／インデックス型

基準価額	10,094円
純資産総額	139百万円
銘柄数（マザーファンド）	448
マザー受益証券投資比率	98.9%
信託報酬率	0.2415%（税抜0.23%）

マザー純資産総額	239,436百万円
推定トラッキングエラー	0.02%

＜商品の特色＞

◆投資目的

「ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド」受益証券を通じて、主として日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債などに投資し、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行うことにより、シティグループ世界国債指数（除く日本、円ヘッジベース）に連動する投資成果を目指します。

◆投資対象

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券を主たる投資対象とします。

＜4月の市場概況＞

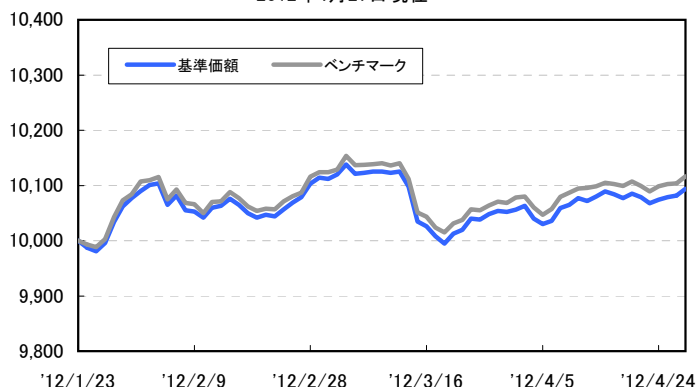
4月の海外債券市場は、欧州債務懸念が再燃したことを受けて債券は買われました。

米国債券市場は、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録や地区連銀経済報告（ページブック）では米国景気の改善が示唆されたものの、非農業部門雇用者数変化が事前予想を大幅に下回り小幅増加になるなど雇用統計が弱かったことや第1四半期GDP（速報）が事前予想を下回り低下するなど軟調な経済指標に加えて、欧州債務懸念が再燃したことを受けて米国債は買われる展開となりました。米国10年債利回りは前月末から0.30%低下の1.91%となりました。

欧州債券市場は、ドイツ鉱工業生産やユーロ圏購買担当者景気指数（PMI）が事前予想を下回り低下した一方、ユーロ圏鉱工業生産やドイツZEW景況感が事前予想を上回り上昇するなど経済指標が強弱交錯する中、イタリアの財政懸念や米格付け会社S&Pによるスペイン国債のBBB+への格下げなど、スペインやイタリアを中心とした欧州債務懸念が再燃したことで独国債は買われました。英国債券市場は、失業率の低下など雇用統計が強かった一方、第1四半期GDP（速報）が事前予想を下回るなど経済指標が強弱交錯する中、欧州債務懸念の再燃を受けて比較的安全とされる英国債の需要が高まったことが買い材料となりました。独10年国債利回りは前月末から0.13%低下の1.66%、英10年国債利回りは0.09%低下の2.11%となりました。

設定来の基準価額（税引前分配金込）の推移

2012年4月27日現在



※基準価額は信託報酬控除後です。

※ベンチマークはシティグループ世界国債指数（除く日本、円ヘッジベース）で、2012年1月23日を10,000として換算し直しています。

一般特性値

平均最終利回り	1.96%
平均デュレーション	6.14
平均格付け	AA

通貨別構成比※

通貨別構成比※	比率
米ドル	41.27%
ユーロ	41.12%
英ポンド	8.11%
カナダドル	2.92%
オーストラリアドル	1.54%
その他	4.85%

残存年数別構成比※

残存年数別構成比※	比率
1年未満	0.91%
1～3年	27.84%
3～7年	32.73%
7～10年	16.41%
10年以上	21.91%

国別構成比※

国別構成比※	比率
アメリカ	41.27%
カナダ	2.92%
メキシコ	0.91%
オーストラリア	1.54%
シンガポール	0.41%
マレーシア	0.55%
イタリア	9.16%
ドイツ	9.43%
フランス	9.77%
イギリス	8.11%
スペイン	4.43%
ベルギー	2.53%
オランダ	2.68%
オーストリア	1.76%
デンマーク	0.88%
スウェーデン	0.62%
スイス	0.39%
フィンランド	0.65%
アイルランド	0.72%
ポーランド	0.75%
ノルウェー	0.34%

※比率はマザーファンドの純資産総額対比です。

基準価額騰落率（税引前分配金込）

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
ファンド	0.42%	0.17%	-	-	-	-	0.94%
ベンチマーク	0.47%	0.32%	-	-	-	-	1.16%
差	-0.06%	-0.15%	-	-	-	-	-0.22%

※ファンドの騰落率は信託報酬控除後の基準価額より算出しています。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に外国の公社債に投資するため、組入れた公社債の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

設定・運用：ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

【組入投資信託の運用概況】

2012年4月27日現在

GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド(円ヘッジコース)VA<適格機関投資家限定>

ファンドの特色

- ①当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として日本を除くアジアの企業が発行する米ドル建てハイ・イールド債券に投資します。
 * 組入れ投資信託証券では、米ドル建て以外の資産に投資することがあります。米ドル建て以外の外貨建資産に投資を行った場合は、原則として対米ドルで為替ヘッジを行います。
 ②外貨建資産については、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

運用実績

設定来の実績（設定日：2012年1月17日）

基準価額 10,820円 純資産総額 2,006.6百万円

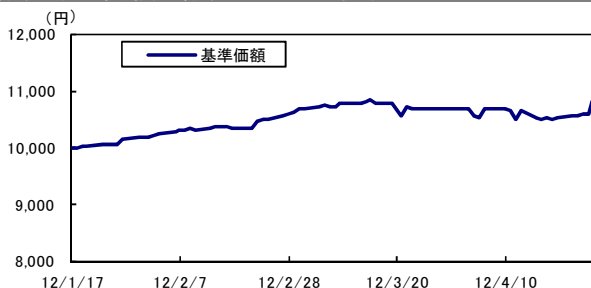
信託設定日 2012年1月17日 信託期間 2021年10月25日まで
 決算日 毎年10月25日（ただし、休業日の場合は翌営業日。）

期間別騰落率

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.27%	6.15%	—	—	—	8.20%

分配金の推移(1万口当たり、税引前)

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	設定来累計
決算月	2012/10	2013/10	2014/10	2015/10	2016/10	—
分配金	—	—	—	—	—	—



※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。当ファンドの信託報酬は純資産総額に対して年率0.9345%（税込）であり、上記の基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

<組入れファンド> ゴールドマン・サックス・アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・FX・サブ・トラストの実績

◆ポートフォリオの資産構成

アジア・ハイ・イールド債券等	92.5%
現金等	7.5%

◆ポートフォリオの状況

組入銘柄数	98銘柄
デュレーション ^{*1}	4.01年
最終平均利回り ^{*1}	8.14%
平均格付け ^{*1}	BB-格

◆国別比率

国名	比率
中国	32.3%
インドネシア	20.2%
香港	14.6%
フィリピン	7.8%
インド	6.7%
シンガポール	2.2%
ペネズエラ	1.8%
ロシア	1.5%
オランダ	1.3%
スリランカ	1.1%
ノルウェー	1.0%
韓国	0.7%
タイ	0.5%
マレーシア	0.3%
モンゴル	0.3%
アラブ首長国連邦	0.2%
現金等	7.5%

◆格付^{*2}別比率

格付け	比率
AA	0.1%
A	4.5%
BBB	10.4%
BB	32.3%
B	28.0%
CCC	0.7%
NA	16.6%
現金等	7.5%

◆業種(セクター)^{*3}比率

業種(セクター)	比率	業種(セクター)	比率
不動産	20.8%	基礎資材	6.7%
エネルギー	16.1%	商工業	5.5%
多角経営	9.8%	消費(非景気循環型)	3.8%
公益事業	9.7%	消費(景気循環型)	3.0%
金融業	9.5%	現金等	7.5%
通信	7.7%	—	—

◆組入れ上位銘柄

	銘柄名	国名	クーポン	償還日	業種(セクター) ^{*3}	格付け ^{*2}	比率
1	COUNTRY GARDEN HOLDINGS	中国	11.1250%	2018/2/23	不動産	BB-	3.1%
2	FRANSHION DEVELOPMENT	中国	6.7500%	2021/4/15	不動産	BB	3.0%
3	BERAU CAPITAL RESOURCES	インドネシア	12.5000%	2015/7/8	エネルギー	B+	2.9%
4	LISTRINDO CAPITAL	インドネシア	6.9500%	2019/2/21	公益事業	BB-	2.8%
5	ROYAL CAPITAL	フィリピン	8.3750%	2049/12/31	消費(非景気循環型)	NA	2.7%
6	EVERGRANDE REAL ESTATE GROUP	中国	13.0000%	2015/1/27	不動産	B	2.7%
7	VEDANTA RESOURCES	インド	8.2500%	2021/6/7	基礎資材	BB-	2.6%
8	INDOSAT PALAPA	インドネシア	7.3750%	2020/7/29	通信	BB	2.3%
9	NOBLE GROUP	香港	6.7500%	2020/1/29	多角経営	BBB-	2.2%
10	PT ADARO INDONESIA	インドネシア	7.6250%	2019/10/22	エネルギー	BB+	2.0%

*1 現金等を含みます。 *2 格付けは、スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズおよびフィッチ・レーティングスのいずれかの格付機関の低い方の格付けを使用しています。

*3 セクターは、Bloombergのセクター分類を使用しています。

※最終平均利回りとは、ポートフォリオに組み入れられているすべての債券が、デフォルト(債務不履行)等することなく償還日において償還されると仮定して計算された年平均の利回りです。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

運用コメント

<アジア・ハイ・イールド市場>

4月のアジア・ハイ・イールド債券市場は堅調な展開となり、スプレッド(上乗せ金利)は縮小しました。

月前半、欧州で債務問題が再燃したこと、米国の経済指標が軟化したことなどが悪材料となり、アジア・ハイ・イールド債券市場は軟調な展開となりましたが、月後半には持ち直しました。インドネシアの海運大手ベルリアン・ラジュ・タンカーと中国の植林会社シノ・フォレストがデフォルト(債務不履行)を理由に月末時点でインデックスから外されたことを受け、月末にかけてスプレッドが大幅に縮小したことが背景です。セクター別では、中国のダブルB格の不動産セクターが堅調となる一方、経済成長の鈍化懸念などを背景にインドネシアのハイ・イールド債券と中国の商工業セクターが軟調な展開となりました。また、4月のアジア・ハイ・イールド債券の発行市場は勢いが鈍化しました。調達した資金は引き続き主に借り換えに充てられています。

■本資料は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

運用:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

SMAM・FGマネーファンドVA<適格機関投資家限定>

【投信協会商品分類】追加型投信／国内／資産複合

● 基準価額および純資産総額

	4月27日	前月比
基準価額(円)	10,009	1
純資産総額(百万円)	471	50

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド
1ヵ月	H24.3.30	0.01%
3ヵ月	H24.1.31	0.01%
6ヵ月	H23.10.31	0.05%
1年	H23.4.28	0.10%
3年		
設定来	H23.3.3	0.09%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 信託報酬率(年率)

(04/27現在) 0.0305%

※上記信託報酬率は税抜きです。

● 資産構成 ※1

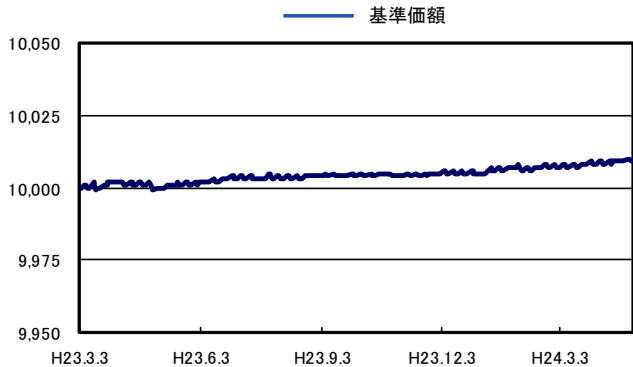
	4月27日	前月比
債券	98.6%	- 0.2 %
先物等	0.0%	0.0 %
合 計	98.6%	- 0.2 %

● ポートフォリオの状況

平均クーポン	1.20 %
平均修正デュレーション	0.40 年
平均利回り	0.17 %

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■上記グラフにおいては、基準価額を、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 債券種別構成 ※2

国債	100.0%
政府保証債	0.0%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%
円建外債	0.0%
その他	0.0%

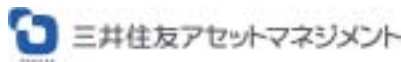
● 残存年限別構成 ※2

1年未満	100.0 %
1-3年	0.0 %
3-5年	0.0 %
5-7年	0.0 %
7-10年	0.0 %
10年以上	0.0 %

※1 純資産総額対比

※2 現物債券評価額対比

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

● 特別勘定の運用収支状況（2011年度）

（単位：百万円）

区分	金額			
	FG新興国重視型20	FGグローバル型25	FG新興国債券	FG新興国株式
利息配当金等収入	0	-	1	1
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	29	6	72	9
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	27	4	14	70
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	3	1	2	3
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	-2	0	57	-63

区分	金額			
	FG日本株式	FG外国債券円H	アジア債券円H	FGマネー
利息配当金等収入	0	0	-	0
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	6	-	15	0
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	0	-	0
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	-	0	-	0
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	6	0	15	0

● 特別勘定の運用方針

①当期の運用実績の推移

各特別勘定の運用状況をご参照ください。

②当期の運用方針

当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。

③今後の運用方針

当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

ご負担いただく費用について

この商品では、以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

●ご契約時の費用

項 目		費 用
契約初期費用	ご契約の締結や代理店手数料の支払い等に必要な費用	一時払保険料に対して4.0%

●積立期間中の費用

項 目		費 用
保険関係費用 ^{*1} (保険契約管理費)	ご契約の維持・管理や代理店手数料の支払い等に必要な費用	基本保険金額に対して年率2.3% ^{*2}
資産運用関係費用	特別勘定の運用に必要な費用 (特別勘定ごとに費用が異なります。詳しくは、P1「特別勘定の内容」、もしくは「特別勘定のしおり」をご覧ください)	投資信託の純資産総額に対して 左記費用を毎日控除します

●年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約)

項 目		費 用
保険関係費用 ^{*3} (年金管理費)	年金のお支払い・管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%

●年13回^{*4}以上のスイッチングを行う場合にかかる費用

項 目		費 用
積立金移転費用	スイッチングを行う場合で、年13回目 ^{*4} からかかる費用	1回あたり1,000円

*1 保険関係費用(保険契約管理費)は基本保険金額に対して計算しますので、基本保険金額が一定の場合、保険関係費用(保険契約管理費)は積立金額の増減にかかわらず一定となります。

*2 保険関係費用(保険契約管理費)を控除する際、費用に相当するユニット数(ご契約者が保有する特別勘定の持分の単位数)が減少します。

*3 保険関係費用(年金管理費)は、毎年お支払いする年金額から差し引かれるものではなく、将来の年金のお支払いのために積み立てられている責任準備金から控除されます。また、保険関係費用(年金管理費)は、将来変更する可能性があります。

*4 「年」とは、契約応当日(契約日)から翌年の契約応当日前日までをいいます。

投資リスクについて

- この商品は、将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(変額個人年金保険)です。
- 将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等に最低保証はありません。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、ご契約者は収益を期待できる一方、価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク等の投資リスクを負うことになります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、死亡保険金、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じるおそれがあります(被保険者が積立期間中に所定の不慮の事故による傷害などでお亡くなりになった場合は、基本保険金額と同額を災害死亡保険金として死亡保険金に加算してお支払いします)。
- 積立金額が0円になった場合は、ご契約は消滅します。ご契約が消滅した場合には、以後の死亡保険金、年金等のお支払いはありません。
- 運用対象や運用方針の異なる複数の特別勘定の中から、投資対象となる特別勘定をお客さまの判断で決定していただきます。また、特別勘定の資産運用の成果およびリスクはお客さまに帰属することになります。
- スwitchングを行った際には、選択した特別勘定の種類によっては、その特別勘定の投資リスクがスイッチング前の特別勘定の投資リスクと変わることがあります。
- 東京海上日動フィナンシャル生命の業務または財産の状況の変化や経営破綻により、年金額・死亡保険金額等が削減されることがあります。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

この商品は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

【募集代理店】



【引受保険会社】

東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社
〒141-6008
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower
TEL 03-6420-4000(大代表)
ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは
0120-237-770

受付時間 月～金／9:00～17:30

(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)